

国際会長主題 「より良い明日のために今日を築く」

アジア・太平洋地域会長主題 「アクション！」

西日本区理事主題 「風となれ、ひかりとなれ」

中部部長主題 「輪を拡げ 明るく楽しく 元気よく Y M C Aとともに」

## 2019～2020 中部部報 第1号

### 「中部のこれから」

中部部長 小林滋記

今期、中部は92名でスタートしました。前年と比べてプラス3名です。でも手放しで喜んでばかりはいられません。メンバーの増加は東海クラブの健闘を除けば、とやまクラブのチャーターに負うところがほとんどです。クラブ数も一つ減って7クラブになりました。さらにこの先、部長および部会ホストクラブの選出にも困難な状況になって来ています。後二、三年は大丈夫ですがその先を考える時、中部の将来を考えて部の在り方、部長のあり方、部会のあり方について様々なアイデアを集約したいと思います。皆様のご意見をお聞かせください。突拍子もない意見、こんなアホみたいなアイデアでいいのかな、というのを期待しています。始まりから明るい話題ではなくて心苦しいのですが先ずはスタートにあたって皆様へのお願いです。中部のこれからを考える時には、まず各々のクラブが例会をちゃんと催す事が前提です。このちゃんとした例会が難しいですが、中部には良い手本となるクラブがありますので参加されてはいかがでしょうか。



#### 2019～2020 中部役員

部 長	小林滋記	(名古屋南山)	事業主査		
直前部長	柴田洋治郎	(名古屋東海)	Yサ・ユース	谷川 修	(名古屋)
次期部長	早川政人	(名古屋グランス)	地域奉仕・環境	荒川文門	(名古屋南山)
書 記	荒川文門	(名古屋南山)	EMC	鷺尾文夫	(名古屋東海)
会 計	杉山弘時	(名古屋南山)	国際・交流	松原行謙	(名古屋グランス)
連絡主事	東田美保	(名古屋南山)	メネット	深尾俊雄	(名古屋南山)
監 事	山内ミハル	(金沢)	情報委員長	荒川恭次	(名古屋グランス)
直前監事	川口 恵	(名古屋)			

#### 2019～2020 クラブ会長

金 沢	山内ミハル
名古屋	深谷 聡
名古屋東海	山村喜久
名古屋南山	都築正和
名古屋グランス	吉田一誠
津	亀野 貞
とやま	清水 淳

#### 西日本区代議員

2019～2020 年度	柴田洋治郎	(名古屋東海)
2019～2021 年度	小林滋記	(名古屋南山)

## 「Yサ・ユース事業方針」

Yサ・ユース事業主査 谷川 修

「輪を拡げ 明るく楽しく  
元気よく YMC Aとともに」  
を主題とされる小林部長  
の下、YMC Aサービス・ユ  
ース事業主査を担当する名  
古屋クラブの谷川です。



戸所岩雄西日本区区理事（彦根シャトー）は、「風  
となれ、ひかりとなれ〜こころ豊かにあるために、  
輝くために〜」という主題・副題を掲げられ、荒川恭  
次Yサ・ユース事業主任（名古屋グランパス）は、  
「あなたのその想いを生かすために・・・」との主題  
を掲げてスタートされました。

会員数の減少が顕著で厳しい状況ですが、理事は、  
奉仕を通じてこころ豊かな時と交流をもつことをワ  
イズメンズクラブに属する意味・価値と位置付けら  
れ、奉仕は人のためでなく、『私』のこころの豊かさ  
を得ることにあると表明され、自分たちにできるこ  
と、やるべきことを見定め実行しようとアピールさ  
れております。

中部におけるYMC Aサービスは、とても顕著な  
ものであることは言うまでもありません。これまで  
同様に、YMC Aの諸事業を助け、ともにその実施  
の道を歩むことで、ワイズメンズクラブのYサ事業  
の目標は達成されるものと思っています。ユース支  
援もYMC Aサービスにつながってすめられれば  
良いのかなと思います。

学童キャンプ、中学生バスケットボール大会、国  
際協力募金、YMC A大会とYYYフォーラム、南  
山バザー、チャリティラン、チャリティゴルフ、クリ  
スマスカードコンテスト、クリスマスキャロル、ピ  
ンクシャツデー、リーダー感謝会といったプログラ  
ム、その上に、YMC A会員増強、YMC A理事会・  
評議員会に主要メンバーとして、各クラブのワイズ  
各クラブのワイズには関わってもらっていますね。  
今期も、どうぞ 宜しく願いいたします。

（日本区大会における表彰基準）

- ① Yサ・ユース最優秀クラブ
- ② YMC Aサービス優秀クラブ
- ③ ユース支援優秀クラブ
- ④ AYC参加支援優秀クラブ

⑤ Yサ・ユース献金優秀クラブ  
表彰は目的でなく、結果ですね。

## 「各クラブで継続した地域奉仕を」

地域奉仕事業主査 荒川文門

ワイズメンズクラブの奉  
仕活動の重要な要素である  
地域奉仕では、各クラブそれ  
ぞれ特徴のある地域サー  
ビスを展開しています。ベース  
となるYMC Aとの共同の  
ものも多く、クラブのみの独自性を強調するもの  
でもありませんが、各クラブで大いに地域奉仕に取り  
組んでいただきたいと思ひます。



主査としては、各クラブの状況をできるだけ確  
に、早く把握し他クラブへ情報として流すようにし  
たいと思っています。そのうえでメンバー数に限り  
のある昨今の状況を踏まえ、他クラブへの人員、物  
資など協力要請をしていきたいと思ひます。YMC  
Aのバザーなどを通しYMCのある地域の方々への  
PR、交流などを活発に行きたいものです。

また中部内では名古屋クラブの養護施設招待の潮  
干狩り、金沢、富山クラブの色々な地域サービス、東  
海クラブの根ノ上へのサービス、グランパスクラブ  
の外国語学院奉仕、キャンプ場奉仕、南山クラブの  
養護施設招待の芋掘り、など地域に密着した色々な  
奉仕活動をYMC Aと協力しつつ展開したいもので  
す。その意味では地域奉仕は、YMC Aサービスと  
重なる部分がありますが、全体として地域奉仕とし  
て取り組んでいきたいものです。

## 「国際・交流事業における活動計画」

国際・交流事業主査 松原行謙

ワイズメンズ活動におい  
て人と人のふれあい、本当  
の意味において、（つまり言  
葉ではなく心の理解）コミュ  
ニケーションがますます重  
要視されている。ワイズ活動  
の最も重要な1つであるナショナリティーが最近薄  
れつつある傾向にある。そのような現状においても  
世界的視野に立ち、色々な人への思いやりの心を育



み、仲間と共に成長していきながら社会に奉仕するためにも、国際性と国際理解がないとワイズ活動はあり得ない。各クラブでのIBC、DBC活動が活性化し、色々な人との交流を密にしながらワイズ活動の価値を高めたい。もちろん既存のIBC、DBCとの訪問もさることながら、現代ではインターネットを利用した情報交換での交流も出来る環境にあります。お互いをますます高めて頂きたい。IBCについては国際大会への積極的な参加などを通じワイズ活動の進歩・発展のため新規開発を望むものである。

### 「EMC事業主査として頑張ります」

EMC事業主査 鷲尾文夫

今期のEMC事業主査を拝命しました。ワイズメンズクラブに再入会して3年での重責ですのでとまどっておりますが、任務は責任をもって行なっていきたいと思っております。先期、私の所属するクラブ



では4名の新入会員が増えました。仲間が増える事は本当にうれしいことです。そのためにも、会員増強に今以上に力を入れていきたいと思っております。小林中部部長と連携を取りながら、時間の許す限りそれぞれのクラブに訪問して会員の皆様と意見交換していきたいと思っております。特に、将来のワイズメンズクラブの中心になってもらえる方を一人でも多く入会してもらえるように、新しい試みも考案中です。もちろんノンドロップは重視致します。

私は人との出会いは縁だと思っております。大好きな言葉に「大才、は袖すり合った縁をも生かす」があります。会員の皆様の人脈をいかしていただき、今期会員増強にご協力ご指導よろしくお願い申し上げます。

### 「中部におけるメネット事業」

メネット授業主査 深尾俊雄

メネット事業がこの何年か曲がり角に来ているようです。中部7クラブの中でも活発な活動をしているメネットクラブはほとんど無い状態になってきています。主査もこの何年かメンが名目上の役割を果

かメンが名目上の役割を果たしてメネットではなくなってきています。メネット事業の在り方を一度しっかり考えなす時期に来ているのかも知れません。メネット独自の事業は西日本区では続いているかもしれませんが、中部内では独自のプログラムどころかメネット会すらもほぼ存在しない状態です。

メネットの活動をメンの例会参加を促し、メンと友に活動する方向にむけ、クラブ活性化につながるようにメネット事業主査として今年目標の一つにしていこうと思っております。メンの例会の活性化を図る一手段として捉え、メンとともに歩むメネット会の再生を期待したいと思っております。



### 「情報発信・共有はクラブの原動力」

中部情報委員会 荒川恭次

自分の年齢が気になるようになってから後継者を探すも思うようにはならず、また登場することになりました。でも他の部を訪問するときにはその部の広報担当の方とも話が合い、ホームページのこと、ブリテンのことに花が咲きます。



さて、現在中部内ではワイズ起し運動としてクラブの活性化に取り組まれていることと思っております。そして、その手段の一つが「情報の公開」だと思います。これまでの情報伝達の手段はメール・ホームページのみでしたが、今や携帯電話はスマホと化し、スマホは旧来のパソコン以上の性能を持つ情報機器となりました。「LINE」「Face book」「Messenger」等が加わりヨーロッパとも同時刻に情報交流できる時代となりました。遠方の方々とも「Skype」では無料で映像会議が開催できます。高齢化し足腰の弱ったワイズも自宅でリアルタイムに例会参加できますよ。これからの中部情報委員会は、各クラブの情報公開と共有にお役に立てることを目指していきたいと思っております。

## 「愛し合い 助け合い 楽しい仲間づくり」

### ～YMCA と EMC 活動の充実を～

金沢クラブ会長 山内ミハル

金沢クラブは前期終了（6月）時、メンバー数が6名に減少してしまいました。しかし、今期初め1人の転入会と1人の新入会員を迎えることができ、正会員8名と功労会員1名で出発することができました。メネットさんやビジターを含めて常に充足率150%前後を保ってきた第一例会には、ワイズメン・バッジの着装と握手で挨拶しようとの申し合わせをしました。またこれまで同日に行ってきたブリテン編集を別日に設け、第二例会では第一例会と特別例会その他の計画を綿密に図ることにしました。特別例会はその都度その都度思い付きで行うのではなく、年度初めから決めてくことにして、納涼例会（8月）、夏季特別例会（9月）、芋煮会（10月）、秋季特別例会（11月）、冬季特別例会（1 or 2月）を行う。また、DBC 交流会と新設されたとやまクラブとの交流会をもち、中部部会と西日本区大会にはなるべく多くの会員が参加できるようにしたいと計画しています。



バー確保にはつながらないでしょう。行ってよかったと思える運営を積極的に実践していくことは、イベントを開催し周囲の多くの人に活動をアピールするより、ずっと現実的だし、こうして足元を固めることが今こそ必要なのではと思います。その上で、新メンバーを招き、ワイズの活動を通してYMCA精神を伝播することができたらと思います。

### ～クラブ標語：「限りなき熱情を奉仕に」

Serve generously at all time～

### 会長主題：「例会は出席第一」

名古屋東海クラブ会長 山村喜久

直前会長の池野輝昭さんの御努力により、久しぶりにメンバー数が20名を超え、今では中部で一番メンバーの多いクラブとなりました。私は池野さんの活動方針を踏襲し、会長主題を「例会は出席第一」としました。毎月の例会出席率をクラブとしても個人としても100%達成を目標として、第一例会だけでは無く第二例会にも出席し、メイクアップの権利を少しでも多くする様にして下さい。私は飲めませんが第二例会後のノミネーションは親睦を深め、楽しいひと時です。一度も第二例会に参加したことの無いメンバーの皆様、ぜひ一度第二例会にご参加下さい。



また、クラブの例会出席だけだった人は中部部会等の中部の各行事に参加を、中部部会に参加した事がある人は西日本区大会、アジア大会、世界大会等に参加をして各地のワイズメンとの交流の時をもって下さい。YMCAの行事に参加をした事の無いワイズはYMCAの行事にも是非参加をして下さい。

## 「クラブライフで平和を感じよう」

### 「good vibration」

名古屋クラブ会長 深谷 聡

名古屋クラブは1947年チャーター、72年間の歴史を有するクラブです。諸先輩方の祈りと努力の積み重ねのうちに、現在20名。メンバーは減少しましたが、これはむしろ、時代に即したクラブへの移行の時を与えられたのだと感謝し、まずは現在実行可能な事から！を、クラブ員全員が共通ビジョンとし、現状をしっかり把握するためのチャンスだと捉えるポジティブな姿勢で歩いていきたいと考えています。まずは、例会の出席率を上げることです。ワイズの魅力のひとつにIBC、DBCがありますが、この輪を広げる為には、現メンバーに例会に出席してもらい交流を深めること。魅力あるクラブ運営できずして、新メン



## 「創意と工夫で魅力ある活動を」

名古屋南山クラブ会長 都築正和

2019～2020 会長を務めます都築正和です。チャーターは1970年で49年の長い歴史がありますが、現在連絡主事を含め僅か7名の弱小クラブです。今年度中部部長のホームクラブとして活動します。昨年



「部」「部会」の持つ意味・意義等々例会の度に話し合いを重ねて来ました。小林メンを部長に推挙し当然のこと乍ら我々が全面バックアップする事、一人何役もこなす事を確認し合いました。プログラムとしては中部の運営、部会の開催、毎年数百人の参加者で賑う南山クラブ中心活動「南山ワイズ農園」運営をベースとして個々人が「創意と工夫」をもって魅力ある活動をして行きたいと思えます。又在名古屋クラブに積極的に働きかけ合同プログラムを実施したいと思えます、先ずは「部会の成功」を念頭に「農場プログラムの更なる充実と発展」を合言葉に例会プログラム実施して行きます。

### 「多文化共生社会の実現に向けて！」

#### 新しいポジティブネットの輪を創る」

名古屋グランパスクラブ会長 吉田一誠

自らいうのも？ですが、わがグランパスはYMCAに対する貢献、サービスについてはほかに誇れる働きをしていることを自負しています。しかしながら、メンバーの新陳代謝がないのでこのままいくと年とともに衰退していくことは免れません。



- \*このままの形で、クラブ解散の道を成り行きですむか？
- \*新しいメンバーの獲得を目指し継続を目指すか？
- \*どこかのクラブと合体するか？
- \*新しい形のYMCAに対するサービスをする集団としてワイズのこだわることなく活動していくかなど、今年は今までとは違った視点で今後の展開についてメンバーで追及し新しい流れを創りたいと考えています。

今年は例会場を浅間町の日本語学院の会館に移し、今までいろいろ一緒に取り組んできたリーダー会や、リーダーOB&OG会も巻き込んで、名古屋YMCA日本語学院の行事、活動を全面的にサポートすることを今年の重点実施事項としています。

そのためには日本語学院生徒やチューターの人たちも参加できるような交流の場をもうけ、“多文化共生社会について学ぶ”とともに今までにはないポジティブネットを創る必要があります。このことを通

じて私たちグランパスワイズの今後の在り方を考えていくつもりです。

### 「ワイズで学び ワイズで奉仕」

津クラブ会長 亀野 貞

今年の活動計画は、Yサでは三重YMCA支援活動として恒例になっている幼児園バザー(5月末)への協力を行う。地域奉仕・環境事業では通所介護事業所へのクリスマス訪問を、特別養護施設での新年餅つき大会を実施したい。



近年、津クラブでは会員増の実績がなく、中部所属クラブとしての役割を務めるだけのパワーがありません。他クラブへご迷惑をおかけしていることを心苦しく感じております。

近い将来には貢献できるよう努めて参ります。このため、名古屋地域の諸クラブのバライティーに富んだ活動を勉強して、津クラブの新たな展開を期していきたいと思えます。

### 「Reborn TOYAMA!!」

とやまクラブ会長 清水 淳

2月の設立総会、5月にチャーターナイトに多数のみなさんにご参加いただきありがとうございました。約15年の休止期間を経て富山にワイズメンズクラブが復活しました。過去の伝統を重んじ新しいことに挑戦していきます。富山YMCAの活動のサポートを中心に活動します。



(今期の予定)

- 8月3日(土) 舟橋村ツキイチ園むすび  
(以降毎月第一土曜日開催)
- 9月20日(金) ユースボランティア講演会  
(富山YMCAと共催)
- 11月4日(休) 富山YMCAファミリーバザー

数々のクラブの方々から合同でのプログラムのお誘いをいただき感謝しております。現状足元を固めるのが精一杯ですのでこちらから出向くことは難しいのですが、当クラブの例会はビジター参加大歓迎ですのでいつでもお越しください。お待ちしております。